



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 103 号

R5.3.14

文責 中西 勉



インフルエンザの感染拡大に要警戒

現在、岡崎市内では、インフルエンザの感染拡大が続いています。本校も、先週末の感染者は14人でしたが、週明けの昨日は、一気に倍以上の35人になりました。特に、1年3組は、感染者が8名を数えたため、本日から3日間<14日(火)～16日(木)>の学級閉鎖の措置を取りました。また、明後日<16日(木)>に予定されていた「ワンチーム活動」(PTA奉仕活動)は、児童と保護者の皆様の健康を第一に考え、中止とさせていただきます。ご理解くださいますようお願いいたします。

昨日から、新型コロナに対するマスクの着用は個人の判断になりましたが、インフルエンザの流行もあり、昨日、授業中にマスクを外している児童はほとんど見られませんでした。

6年生は、週明けの20日(月)に卒業式を控えており、明日<15日(水)>以降にインフルエンザにかかると、少なくとも5日間の出校停止になるため、20日(月)の卒業式に出席することができなくなります。これ以上、インフルエンザの感染が拡大しないように、ご家庭においても、マスクの適切な着用を含め、手洗い、うがい、換気等、できる限りの感染予防に努めてくださいますようお願いいたします。



WBC 佐々木朗希投手の行動に学ぶ

日本中を大きな歓喜の渦に巻き込んでいるWBC。侍ジャパンは、期待通りの活躍を見せ、初戦の中国に8-1、第2戦の韓国に13-4、第3戦のチェコに10-2、第4戦のオーストラリアに7-1で勝利し、4戦全勝で16日(木)の準々決勝に駒を進めました。侍ジャパンは、投打ともに持てる力を存分に発揮しており、目標の「世界一」の達成に期待が大きく膨らみます。

さて、選手の活躍の話題に事欠かないWBCですが、今回、私が感銘を受けたのは、チェコ戦に登板した佐々木朗希投手の紳士的な行動です。佐々木投手は、チェコ戦の4回、エスカラ選手に時速162キロの剛速球を投じて膝に当ててしまいました。エスカラ選手はかなり痛そうでしたが、佐々木投手はすぐさま帽子を取り、エスカラ選手に謝りました。その後も、4回が終了してベンチに戻る際にも、エスカラ選手に歩み寄って再度お詫びをしました。ここまででも、佐々木投手の行動は十分に称賛できますが、さらに驚いたのは、試合の2日後、チェコの選手が宿泊しているホテルに、自分で買った大量のお菓子を持って、エスカラ選手に改めて謝罪に向いたことです。今回、自分の失敗に対して誠心誠意の行動で気持ちを表した佐々木投手。彼が超一流と言われるのは、そのピッチングの凄さだけではないようです。

人は誰しも失敗をします。でも、大切なのは、失敗をした後に、いかに相手の気持ちを思いやり、どのように行動するかであるということ

を、男川っ子には、この佐々木投手の姿から学んでもらいたいです。



▲脱帽して謝罪する佐々木投手